

会員数 58名  
欠席者

出席者44名 欠席者12名 免除会員5名  
天野・有家・麻田・和泉享・加内・岸上・松山・中野昌・大山・松村  
大西和・山下・会員

前々回出席率 83.9%(10/7)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 谷本 順三  
幹 事 石合 由明  
会報委員長 藤井 紀子

## お知らせ

- 10月のプログラム  
7 (No.1)-会員卓話  
14 (No.2)-ガバナー補佐公式訪問  
21 (No.3)-米山奨学生卓話  
28 (No.4)-ガバナー公式訪問

他RC例会変更

- ニコニコBOX;  
祝誕生月、祝結婚月、100%出席  
四宮君  
ドティチャー様、丸亀東RC前山様を  
お迎えして  
谷本君

<ニコニコ会計累積/¥105,000>

- がんばるBOX;  
なし

<がんばる会計累積/¥34,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F

## ■会長挨拶

皆さんこんにちは、本日は米山奨学生のド・ティチャー様と随行員の丸亀東RC幹事の前山様をお迎えし、例会でのド・ティチャー様の客話の予定になっております。後ほどの客話宜しく願いいたします。

さて今日のお話ですが昨年簡単に紹介させていただいた坂出バイオマス発電所がやっとスタートする事になりました。地元他の多くの方々のご協力いただいた方々のおかげです。当クラブの会員である百十四銀行様には2017年よりサポートをいただき、大変お世話になりました。明日10月22日に記者発表になる予定です。詳細は主要各紙にニュースリリースがすでに渡されていますので、近日中にニュース掲載される予定です。

このプロジェクトについては燃料を再生可能エネルギーの発電所として認められるために、ウッドペレットを大量に使用します。このウッドペレットは年間32万t必要としており、今回はド・ティチャー様の母国であるベトナムのサプライヤーより商社を通じて供給を受けます。供給を受ける船舶は3万t~4万tのバルクキャリアー船を予定しております。この大事な燃料は15年の基本契約になっています。

ベトナムについては今回の燃料供給をいただく国なので、少し国の概要を調べてみました。皆さまご存知の方々もおられると思いますが紹介させていただきます。

ベトナムの人口は2019年4月発表で約9762万人、世界では14位の大きな人口を抱える国です。言語はベトナム語、宗教は仏教、カトリック、カオダイ経他です。政治体制は社会主義共和国です。経済情報ですが、主要産業は農林水産業14.8%、鉱工業・建築業33.7%、サービス業41.6%になっており、先進国に近い産業構造になっています。弊社も技術社員が自動車会社の製造ラインの納入で何度かハノイに出張し、海外出張した国の中では最も良い国であった事を聞いております。食事が良かったようです。

その他、日本とベトナムは近年非常に深い関わりがあり、日本とベトナムの貿易はベトナムの貿易相手国としては輸出・輸入ともに第3位です。また主要援助国としては2018年において第1位となっています。興味深いデータとして資源も豊かで石油・天然ガスも産出し、鉱物資源にも恵まれています。原油は1660万tの産油国です。食文化も面白く、飲酒量が2018年の統計ではベトナム人の1年間に摂取するアルコール量は8.3リットル世界平均6.4リットルを上回っています。特にビールが好まれているようです。過去からの文化圏としてはわが国と同様に漢字文化圏に属しています。最初のド・ティチャーさんの紹介をさせていただきましたが、お互いの名前を呼び掛ける時は姓ではなく名を呼びあうようです。雑駁なお話になりました。有難うございます。

## ■例会事業;米山奨学生卓話;ドティチャー様

皆様、こんにちは。私は、現在香川大学経済学部4年生のドティチャーと申します。私の出身は、ベトナム東南部にあるホーチミン市です。

<ホーチミン市について>

サイゴンとも呼ばれ、大事な経済大都市です。自然災害の影響が少ないと言われています。雨季と乾季の2つに分かれています。平均温度は、いつも25度を超えていて、ずっと夏だと言われることが多いです。交通人口が多く、主な乗り物はバイクなので、渋滞が多く起きています。ベトナム旅行の最大の魅力は活気あふれる市場での買い物です。特に、ホーチミン市の中心にあるベンタイン市場では、ありとあらゆるものが売られています。本場の味を味わうことができるので、旅行の際には、地元の人が集まるローカルのお店がオススメです。



(裏へ続く)

2021.10.21

Vol.59

No6

(2842)

### <将来の夢>

ベトナムで、日本語会話を中心とした日本語学校を開きたいです。ベトナムでは試験の点数のみを重視することが多いため、資格を取っても、実際の日本語を話すときに使えないことがあります。現在、日本には多くの外国人労働者が入ってきていますが、日本で生活するベトナム人労働者にとって、日本語会話能力、異文化を学ぶ環境を提供したいと思っています。

### <日本にきて困ったこと、努力したこと>

来日する前に、ベトナムで1年間、日本語を勉強してきました。日本語能力の中級レベルの資格を取得していましたが、日本に来たばかりのときには、日本語を聞き取ることができず、日常生活では色々な問題が起こりました。また、日本で暮らせば、日本語が上達すると思っていましたが、実際に買い物をして、学校に行くくらいでは、限られた会話をするだけで済んでしまいます。それでは、自由に日本語を話せるという状態からは程遠いものでした。留学の成果を出すためには、日本語を使えるようになるための工夫を自分から生み出していけないと気づきました。また、異文化の壁にぶつかって、ある時期に日本人のマナーや文化を理解できないので、色々なことに不満を持ってしまいました。しかし、長く住めば住むほど、日本人と交流することが増え、日本人の考え方や日本文化をよく理解できるようになって、異文化の壁を乗り越えることができました。カルチャーショック以外に、問題はたくさんありましたが、最も大変だったのが、両親からの仕送りが全くもらえない私は、勉強とアルバイトの両立でした。これは、ほとんどの留學生の共通の悩みだと思います。大学生になると、日本語学校の時代と違って、勉強の内容も日本語も難しくなるので、勉強に多くの時間を割きたいですが、アルバイトをしなければなりません。そのとき、両立のために、様々な工夫をしました。ただし、毎日アルバイトと勉強を繰り返すうち、せっかく留学しているので、大学サークルに入って、日本人の友達を作って、日本の文化をもっと知りたい、日本の有名な観光地に行ってみたい...と、やりたいことが出てきました。米山奨学生になるまでは、実現できませんでした。

### <米山奨学生になって良かったこと、自分が成長したこと>

今年の4月に米山奨学生になり、半年が過ぎましたが、間違いなく、これは留學生生活の中で最も充実した時間です。アルバイトの時間を減らして、勉強に集中できるようになりました。学校での勉強はもちろん、英語の勉強も始めました。金銭的な問題がなくなったので、安心してインターンシップや就職活動をしています。今年の新型コロナウイルス感染症の影響で、他のクラブの留學生と交流することはできませんが、丸亀東RCでガバナーやロータリアンの方のお話を聞かせていただいたり、様々な分野の方と交流できたりしことで、自分のコミュニケーション能力も向上したと思います。例会では優しく声かけしてくれるので、いつも応援されていると感じます。特に、カウンセラーの岡さんに出会えたことが良かったです。いつも素敵な笑顔で優しい人です。仕事はいつも忙しいはずですが、こまめに連絡を取ってくれます。元々、人前で話すことが苦手な私は、準備不足で緊張してしまい、言い間違えることもあり、反省しています。これからも、多くの人の前で話すことがあると思いますが、頑張ります。卓話のチャンスをいただき、ありがとうございました。

米山奨学生の身分が消えても、お世話クラブで構築した絆は消えないと信じています。残された時間、クラブの皆さまと大切に過ごしたいと思います。